

令和3年度
(2021年度)

市駅周辺まち活性化部の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ①地域資源を生かした魅力あふれる拠点づくりの推進
- ②枚方市駅周辺再整備に向けた機運の醸成
- ③国・府をはじめ事業者など様々な関係者との連携、協力
- ④議会や市民への丁寧な情報共有

具体的な取り組み：枚方市駅周辺再整備の推進（③街区を除く）

枚方市駅周辺再整備については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けて、自然や歴史文化といった多くの地域資源を生かしながら広域都市圏の中心的な機能を集積する広域中心拠点を目指し、令和3年3月に策定した枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき取り組みを進めていきます。

具体的には、④⑤街区のまちづくりでは、基本計画で示す土地利用のイメージを基に、本市の魅力を高めていくための機能や施設などについて、議会や市民の意見を聴取しながら新たな都市機能の誘導に向けて取り組みを進めます。併せて、国・府・市有財産の最適利用のまちづくりを目指し、国・大阪府と更に情報の共有を図るとともに、権利者との勉強会を行うなど、まちづくりの具体化に向けた機運の醸成に努めます。これらの取り組みを進めながら、④⑤街区における土地区画整理事業の実施に向けた具体的な事業計画の検討を行います。

②街区のまちづくりについては、引き続き権利者と意見交換を行っていきます。

また、持続的に魅力が高まるまちづくりに向けて、まちづくりの活動に関わる人を増やし、愛着や多様な連携が生まれることで、主体的に活動を行うエリアマネジメントの仕組みの導入を促進します。



(図) ④⑤街区の土地利用のイメージ

<p>実績</p>	<p>① 「枚方市駅周辺再整備基本計画」に基づき事業を推進。 ② エリアマネジメントの導入に向けた検討。</p>
<p>説明</p>	<p>① 再整備基本計画の実現に向け、民間活力導入エリアに誘導・誘致する機能や施設に関するアンケートやワークショップを実施するとともに、関係機関等と意見交換を行うなど、幅広く意見聴取を行いながら、④⑤街区のまちづくりの考え方（骨子案）を取りまとめました。 併せて、令和4年3月に、民間事業者に対する「サウンディング型市場調査」に着手し、令和4年度に④⑤街区の市有地を有効活用したまちづくりの考え方（案）として、新たな土地活用や誘導するコンテンツの考え方を示していきます。 ② 令和4年3月に持続的に魅力が高まるまちづくりに向けて、エリアマネジメントの仕組みの導入を促進するための公民連携による社会実験を実施しました。 今後も引き続き、社会実験などを実施し、主体的に取り組むプレイヤーの発掘や育成など、地域主体の取り組みに繋ぐことを目指します。</p>

具体的な取り組み：③街区における枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

③街区のまちづくりは、他の街区に先駆け駅前交通広場及び区画道路等の公共施設の整備による交通結節点機能の強化と合わせて、土地の高度利用による多様な都市機能の集積と都市居住の誘導を図るとともに、歩行者回遊動線の形成、防災機能の強化に向け、権利者主体の市街地再開発事業として実施しており、令和5年度以降に建物等工事の順次完了を目指しています。

令和3年度は、市街地再開発組合が予定している既存施設の解体・建築工事が順次実施できるよう、引き続き、国、大阪府と連携して補助金や技術的支援を行います。

<p>実績</p>	<p>① 枚方市駅周辺地区市街地再開発組合（以下「組合」という。）に対する技術的支援、財政的支援を実施。 ② 組合などと連携し、地元説明会などを実施。</p>
<p>説明</p>	<p>① 組合に対して、実施設計や既存建物の解体・建築工事に係る技術的支援を行い、第2・3工区の実実施設計や既存建物の解体工事は今年度に完了し、令和4年2月には第3工区の施設建築物建築工事に着工しました。 また、調査設計計画費及び土地整備費として補助金を交付し、活動を支援しました。 令和4年度は、第1工区の既存建物の解体工事の完了や第1・2工区の施設建築物建築工事の着手が予定されており、引き続き、事業の推進のため、組合や国、府と連携して取り組みを進めます。 ② 本再開発事業及び関連して行う公共施設の整備などについて、組合や関係部署などと連携し説明会などを実施しました。</p>

具体的な取り組み：新庁舎整備に向けた検討

新庁舎整備については、令和3年3月に策定した枚方市新庁舎整備基本構想を基に、⑤街区での安全・安心の拠点の実現に向けて、国との合同庁舎化や枚方消防署の老朽化対策を枚方寝屋川消防組合と連携しながら検討を進めるとともに、ICTを積極的に活用することで、ワンストップ化が図れる総合窓口の検討やよりコンパクトな新庁舎を目指して検討を進めます。

③街区での行政サービス再編については、枚方市駅周辺の魅力や行政サービスの質、市民の安全性・利便性の向上を図るため、市街地再開発組合と連携を図りながら、内装設計を実施します。

<p>実績</p>	<p>① 国・枚方消防署との意見交換及び新庁舎規模の最適化の検討。 ② 枚方市駅前行政サービスの再編に係る内装実施設計の実施。</p>
<p>説明</p>	<p>① 国（枚方税務署）との合同庁舎化や枚方消防署の老朽化対策について、関係者と最適な事業手法や規模等の意見交換を行いました。また、基本構想に掲げる新庁舎の想定規模（約25,000㎡以下）の具体化を図るため、活用可能な既存施設やファイリングシステムの実績を踏まえた効果検証等を行いました。 令和4年度は、引き続き関係者と協力しながら事業の検討を進めるとともに、業務のデジタル化等を踏まえた新庁舎規模の検討や開設までの主なスケジュールなどをまとめた「新庁舎整備基本計画策定の考え方（案）」の作成に取り組みます。</p> <p>② 枚方市駅周辺地区市街地再開発組合と調整を図りながら、行政サービス再編の考え方を踏まえた内装実施設計を行いました。 令和4年度は、引き続き設計業務の完了を目指すとともに、市街地再開発事業における保留床の取得に取り組みます。</p>